ロッテルダム, オランダ

ボイマンス・ファン・ベーニンゲン美術館：名作

バウツ、ボス、ブリューゲルからカンディンスキー、マグリットまで、ロッテルダムのボイマンス・コレクションから選んだ二十点。

AIの補助による翻訳



ロッテルダムのボイマンス・ファン・ベーニンゲン美術館は、中世絵画から近現代美術まで幅広く収集しています。この選集は、祈りのために描かれたバウツの《キリストの頭部》から、鏡を用いたマグリットによるエドワード・ジェームズの肖像まで、そのうちのほぼ五世紀にわたる作品を取り上げます。ボスとブリューゲルは美術館を代表する画家で、ここでもそれぞれ複数の作品を紹介します。ボスの作品には聖人、旅人、そして謎めいた二人の頭部が登場します。ブリューゲルの作品は《小さなバベルの塔》と、復活を描いたチョーク素描です。その周囲には、オランダの風景画や家庭の情景、フラゴナールがチョークで描いた城、バルケの滝、カンディンスキーの《叙情的》、ゴーギャンの《ジャヴェル港》の川辺、そしてシニャックが描いたロッテルダムそのものの港の眺めが並びます。主題も時代と同じほど多彩です。切り落とされた首、天使たちと囲む食事、橋の上の釣り人、糸を紡ぐ女性、牛の頭。作品は年代順には並んでいないため、意外な隣り合わせも生まれます。たとえばマグリットは、ボスの《聖クリストフォロス》のすぐ後に登場します。

Artlineは、美術館とは独立して、記録で確認できる同館の所蔵品からこれらの作品を選びました。年代や作者の帰属については、リンク先の記録にある留保をそのまま反映しています。

アートラインでこのセレクションをご覧ください

選定された作品を、同時代の書籍や出来事と並べてご覧いただけるほか、アーティストの生きた時代を比較することも可能です。ここで紹介する書籍や出来事は、あくまで背景情報を示すものであり、直接的な影響の証拠ではありません。制作年代が特定されていない作品も、本ガイドに含まれています。

文脈の中の芸術作品　誰がいつ生きたのか?

artlines.org/guides/boijmans-van-beuningen

作品一覧・20

1. The Wayfarer
   Hieronymus Bosch · 1500
2. Saint Christopher
   Hieronymus Bosch · 1500
3. Not to Be Reproduced
   René Magritte · 1937
4. Beach View
   Johan Hendrik Weissenbruch · 1891
5. Lyrical
   Wassily Kandinsky
   Василий Васильевич Кандинский
   · 1911
6. Port de Javel
   Paul Gauguin · 1876
7. Rotterdam Harbour
   Paul Signac · 1907
8. Two Male Heads
   Hieronymus Bosch · 1480年頃
9. The Château of Nègrepelisse
   Jean-Honoré Fragonard · 1773
10. The Resurrection of Christ
    Pieter Bruegel the Elder · 1560年頃
11. The Little Tower of Babel
    Pieter Bruegel the Elder · 1563
12. Abraham and the Three Angels
    Aert de Gelder · 1680–1685
13. Anglers on a Small Wooden Bridge
    Maerten Fransz. van der Hulst · 1640–1645
14. A Small Courtyard
    Esaias Boursse · 1660年頃
15. A Woman Spinning
    Gerard ter Borch · 1652-1653
16. Head of a Cow
    Dirck Govertsz · 1626–1629
17. Head of Christ
    Dieric Bouts · 1464年頃
18. Rjukanfossen
    Peder Balke · 1860年頃
19. A River Valley with a Group of Houses
    Hercules Seghers · 1625
20. Judith with the Head of Holofernes
    Gerrit Pietersz Sweelinck · 1605

01 / 20

The Wayfarer

Hieronymus Bosch

1500 · Museum Boijmans Van Beuningen



The wayfarer. WikiArt; Hieronymus Bosch. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

ボスの旅人を取り巻く物や動物は、道徳的な解釈を促してきました。しかし、この人物が誰を表し、絵が何を意味するのかについて、研究者の見解は分かれています。少なくとも、その身ぶりは明瞭です。彼は顔を後ろに向けたまま前へ歩き、体は行く先に向いているのに、目は立ち去ろうとしている場所を見続けています。

作品情報の出典 · 作品を開く

02 / 20

Saint Christopher

Hieronymus Bosch

1500 · 板に油彩 · Museum Boijmans Van Beuningen



Saint Christopher. WikiArt; Hieronymus Bosch. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

旅人は、自分が後にするものを振り返っています。ボスのクリストフォロスは、背負うものの重みに苦しんでいます。聖人は杖に大きく体重をかけており、川を渡るのに力を要していることがはっきり伝わります。幼子が板絵の中で占める面積はわずかですが、聖人が担う重荷はこの子なのです。周囲の風景には小さな出来事が数多く描かれていますが、どれも中心となる動作を妨げていません。

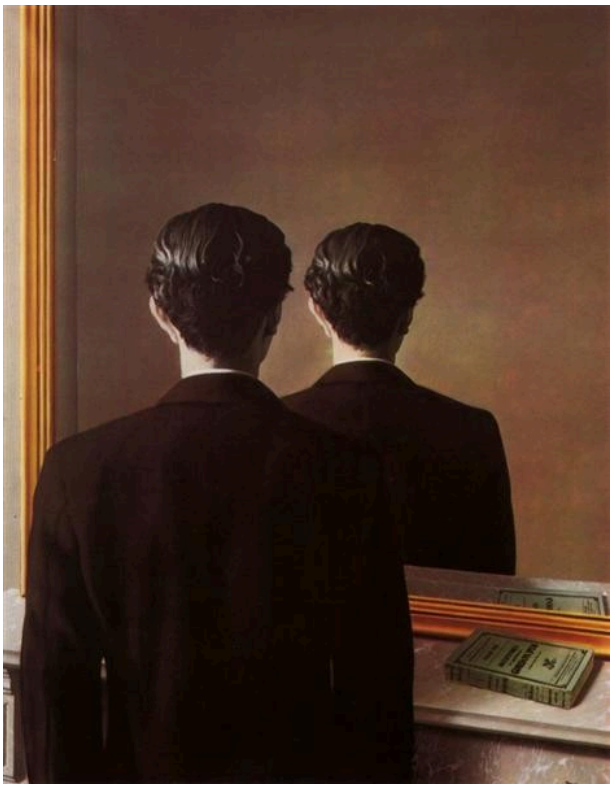
作品情報の出典 · 作品を開く

03 / 20

Not to Be Reproduced

René Magritte

1937 · Museum Boijmans Van Beuningen



René Magritte. Not to be Reproduced. Image: WikiArt. Copyright protected (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Copyright protected (WikiArt label)

エドワード・ジェームズが鏡をのぞくと、そこにも再び彼の後頭部が映っています。画中の本は正常に映っているので、この不可能な現象は選択的です。本は鏡の法則に従い、男性は従いません。マグリットは肖像画としての条件を整えながら、肖像画なら見せるはずの顔だけを伏せています。鏡の役割はまさに姿を複製することなので、《複製禁止》という題名も、この仕掛けに加わっているようです。

作品情報の出典 · 作品を開く

04 / 20

Beach View

Johan Hendrik Weissenbruch

1891 · キャンバスに油彩 · Museum Boijmans Van Beuningen



Johan Hendrik Weissenbruch. Beach view. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/johan-hendrik-weissenbruch/beach-view-1891 · Public domain (WikiArt source label)

このキャンバスの大部分を、淡い空が占めています。その下の浜辺には距離を測る目印がほとんどないため、二台の荷車がその役割を担います。一台は手前の濡れた砂の上にあり、もう一台は水際に向かって遠くにあります。その間に広がる砂地が、浜辺の広さを伝えています。

作品情報の出典 · 作品を開く

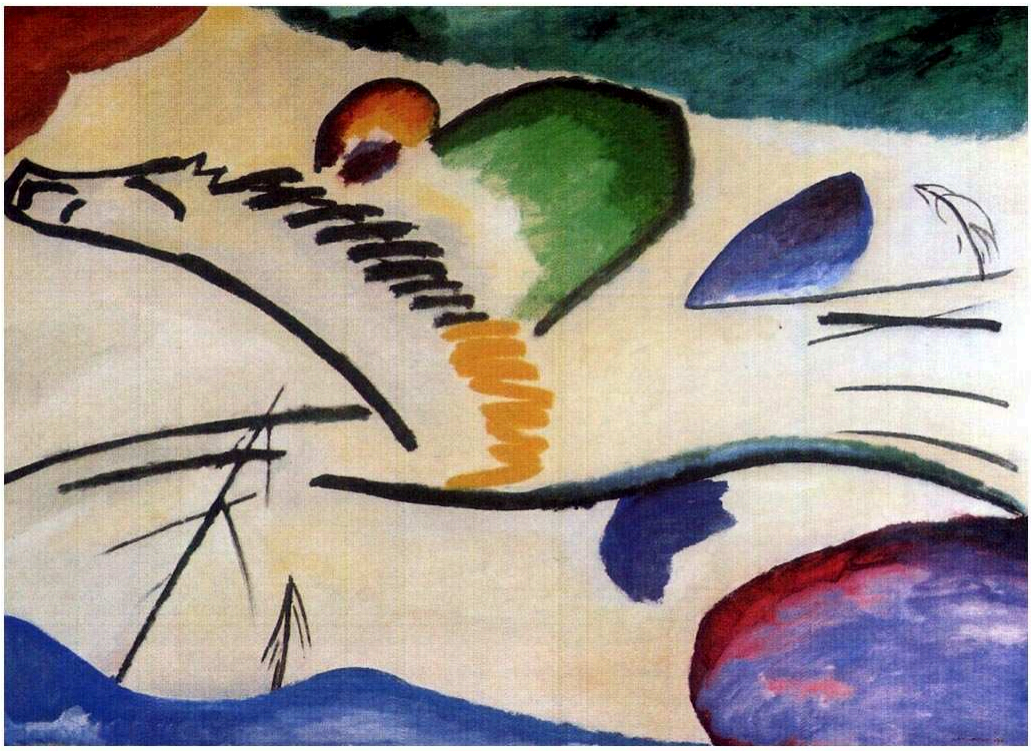
05 / 20

Lyrical

Wassily Kandinsky

Василий Васильевич Кандинский

1911 · キャンバスに油彩 · Museum Boijmans Van Beuningen



Wassily Kandinsky. Lyrical (Lyrics). WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/wassily-kandinsky/lyrical-lyrics-1911 · Public domain (WikiArt source label)

カンディンスキーの題名はある気分を示していますが、かろうじて具体的な主題も残っています。周囲の情景の大半が散らばる色面へと姿を変えていても、馬と騎手はまだ見分けられます。画面を横切って動きを伝える長い線は、騎手をよりどころにしています。騎手が見えている間、それらはある場所を通り抜ける動きとして読めます。騎手を見失うと、絵の表面の中での動きになります。この絵は、一方の読み方がもう一方へと移り変わる、その境目のすぐ近くにあるようです。

作品情報の出典 · 作品を開く

06 / 20

Port de Javel

Paul Gauguin

1876 · キャンバスに油彩 · Museum Boijmans Van Beuningen



Port de Javel. WikiArt; Paul Gauguin. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

この初期のゴーギャン作品は、ジャヴェル港の仕事の営まれる川沿いを、船、低い建物、煙とともに描いています。大きく広がる雲が、水辺と同じほどの面積を占めます。ゴーギャンは産業の姿を隠しても、近代生活の象徴として際立たせてもいません。煙は、ほとんど天候の一部であるかのように空へ昇っています。

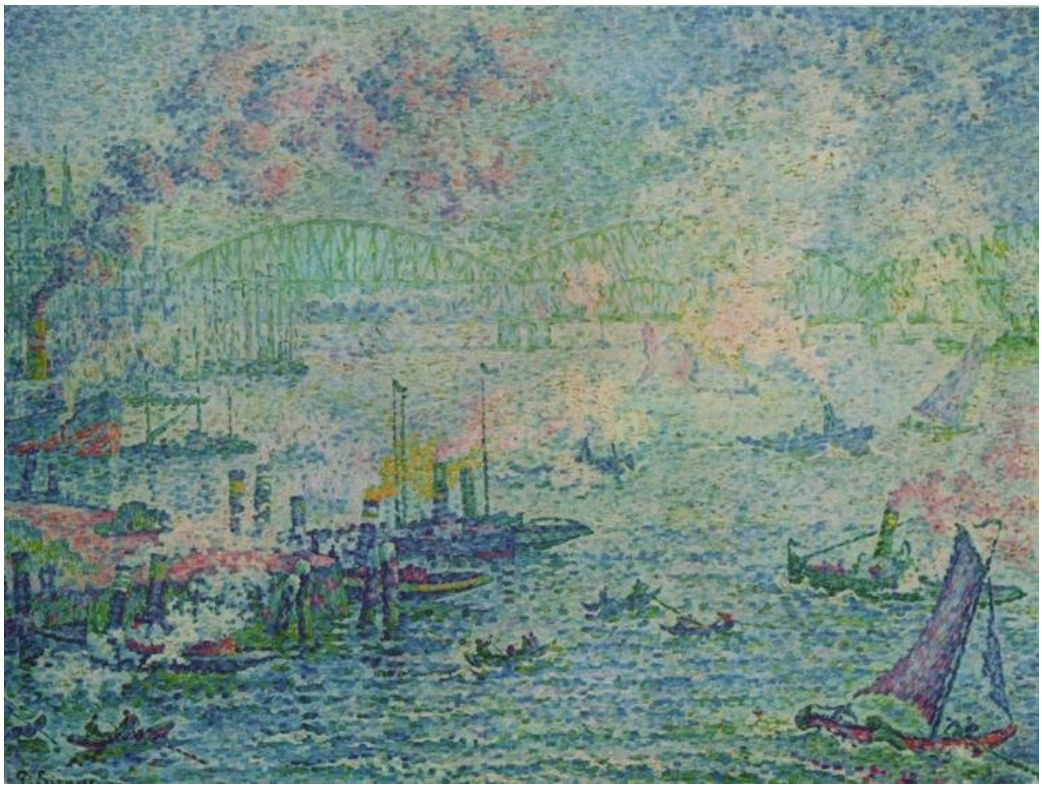
作品情報の出典 · 作品を開く

07 / 20

Rotterdam Harbour

Paul Signac

1907 · キャンバスに油彩 · Museum Boijmans Van Beuningen



Rotterdam Harbour. WikiArt; Paul Signac. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

ここにある作品のうち、美術館がある街の名を題名に掲げているのはこの一点だけです。港の姿は、小さく離れた色の筆触をつなぎ合わせることで現れ、クレーン、帆、水面がそこから徐々に浮かび上がります。さらに難しいのは、シニャックが機械にも帆にも水にも同じ筆触を用いながら、同じ素材には見せていないことです。遠近の効果が対岸を柔らかく見せていますが、画面の色彩は生き生きとしたままです。

作品情報の出典 · 作品を開く

08 / 20

Two Male Heads

Hieronymus Bosch

1480年頃 · 板に油彩 · Museum Boijmans Van Beuningen



Hieronymus Bosch. Two Male Heads. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/hieronymus-bosch/two-male-heads · Public domain (WikiArt source label)

ここで紹介するボスの作品のうち、最も早い時期のものは、最も多くを語らない作品でもあります。凝ったかぶり物を着けた二人の男性が、細い板絵の中に隙間なく収まり、ほかのものが入る余地はほとんどありません。二人を説明する物語がないため、絵を見ることは比較することになります。視線と視線、表情と表情、さらにかぶり物にも違いがあります。それぞれの顔には個性がありますが、この板絵は二人がどのような関係にあるのかを明かしません。

作品情報の出典 · 作品を開く

09 / 20

The Château of Nègrepelisse

Jean-Honoré Fragonard

1773 · チョーク · Museum Boijmans Van Beuningen



Castle Nègrepeliss. WikiArt; Jean-Honoré Fragonard. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

フラゴナールは紙の多くを描かずに残し、光として働かせています。暖かみのある色のチョークで、城の塔や壁を途切れない輪郭線で囲まずに描き出し、周囲の地面にはところどころにだけ筆を加えています。驚かされるのは、線で囲まれた部分がこれほど少ないのに、建物がいかに確かな量感を備えて見えるかということです。

作品情報の出典 · 作品を開く

10 / 20

The Resurrection of Christ

Pieter Bruegel the Elder

1560年頃 · 紙にチョーク · Museum Boijmans Van Beuningen



Pieter Bruegel the Elder. The Resurrection of Christ. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/pieter-bruegel-the-elder/the-resurrection-of-christ · Public domain (WikiArt source label)

紙の余白が大きな役割を果たしたフラゴナールの城の後に見ると、こちらはチョークをはるかに密集させた作品です。紙面の下部は混戦状態です。墓の周りでは兵士たちが体勢を崩し、それぞれの体が異なる方向を向いています。その上に、キリストがまっすぐに立ち昇り、はっきりと姿を現しています。こう説明すると、構成はほとんど図式的に聞こえます。しかし、これほど入り組んだ素描では、それが強みになります。絡み合う体の中でも、主題を即座に読み取れるからです。

作品情報の出典 · 作品を開く

11 / 20

The Little Tower of Babel

Pieter Bruegel the Elder

1563 · Museum Boijmans Van Beuningen



Pieter Bruegel the Elder. The "Little" Tower of Babel. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

題名では「小さな」とされていますが、塔は決して小さくありません。最初は、同じアーチが層をなして繰り返される模様のように見えます。その大きさが明らかになるのは、小さな街や川と比べたときです。上層部は未完成で、破滅を運命づけられたこの事業は、なお建設が進んでいる最中の姿で捉えられています。

作品情報の出典 · 作品を開く

12 / 20

Abraham and the Three Angels

Aert de Gelder

1680–1685 · Museum Boijmans Van Beuningen



Arent de Gelder. Abraham and three Angels. Image credit: Sailko. Wikimedia Commons. CC BY 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by/3.0). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · CC BY 3.0

デ・ヘルデルは、神の訪れを食事の場面として描いています。アブラハムと三人の客は食べ物を囲んで対面し、客をもてなす日常の営みが、この出会いを地上の生活へと引き寄せます。それぞれの反応は異なっていても、囲んだ食卓が一同を結びつけています。光は顔や布地に差し、周囲の空間は控えめに抑えられています。

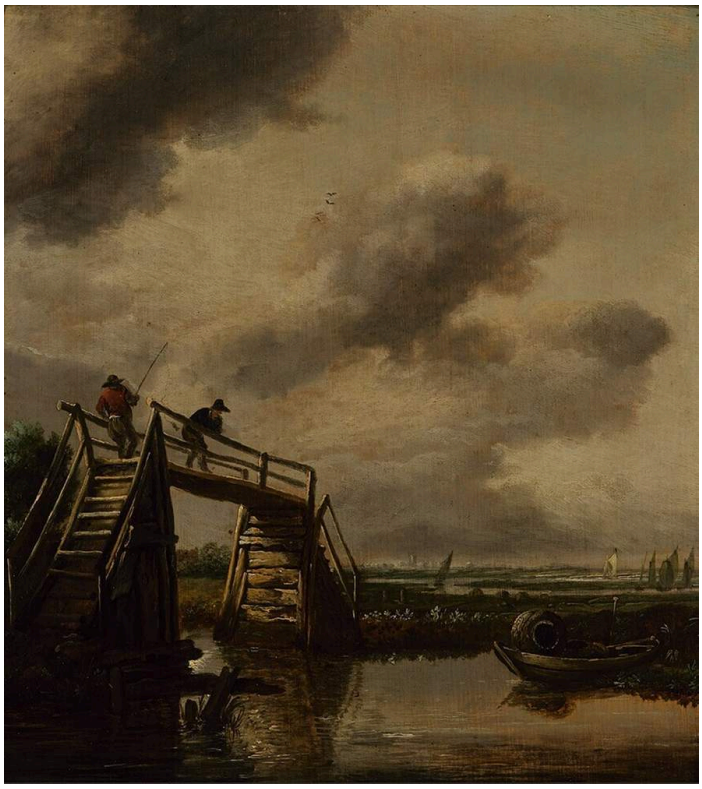
作品情報の出典 · 作品を開く

13 / 20

Anglers on a Small Wooden Bridge

Maerten Fransz. van der Hulst

1640–1645 · Museum Boijmans Van Beuningen



Maerten Fransz. van der Hulst. Anglers on a Small Wooden Bridge. Image credit: Maerten Fransz. van der Hulst. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

小さな木橋での釣りはささやかな楽しみで、題名も同じように控えめです。それでもファン・デル・フルストは、その周りに広々とした眺めを築いています。柔らかな風景に対して、橋は明確な角度をつくり、そこから身を乗り出す釣り人たちは、橋の用途と、人と比べた大きさの両方を示します。手前の橋を確かな基準点とすることで、水面も遠くの陸地も空も、開けたままにしておけるのです。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: 2523 (OK)

14 / 20

A Small Courtyard

Esaias Boursse

1660年頃 · Museum Boijmans Van Beuningen



Esaias Boursse. Binnenplaatsje. Image credit: Sailko. Wikimedia Commons. CC BY 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by/3.0). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · CC BY 3.0

煉瓦の壁が、小さな作業空間を囲んでいます。ブールセが最も注意を向けているのは、物が何でできているかということです。組積造の壁、木、布はそれぞれ異なる光の受け方をし、画家は質感と色調によってそれらを描き分けています。身をかがめて働く人物は、この実用的な環境から浮き上がることなく、その中に溶け込んでいます。

作品情報の出典 · 作品を開く

15 / 20

A Woman Spinning

Gerard ter Borch

1652-1653 · Museum Boijmans Van Beuningen



Gerard ter Borch. A Woman Spinning. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

暗い室内で女性が糸を紡いでおり、テル・ボルフはその仕事を両手の間の小さな空間に集中させています。淡い色の襟と袖口が暗がりから浮かび上がります。部屋は曖昧なままにされ、糸の動きが周囲の何よりも細やかに描かれています。ブールセの中庭は、ほとんど逆の仕組みです。そこでは壁や素材に最も細かな注意が向けられ、働く人物はその中に溶け込んでいます。

作品情報の出典 · 作品を開く

16 / 20

Head of a Cow

Dirck Govertsz

1626–1629 · Museum Boijmans Van Beuningen



Dirck Govertsz. Head of a Cow. Image credit: Dirck Govertsz. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

一頭の牛が肖像画のモデルを務めています。頭部は画面いっぱいに描かれ、人間の肖像画に用いられる形式で、正面を向き、左右対称に配置されています。しかし、角と巻いた前髪を見れば、モデルが何者かは明らかです。光の当たり方にむらがあるため、対称性が硬直した印象にはなりません。ホーフェルツは、通常なら人間のモデルに向けられるような注意を、毛の質感や顔のわずかな左右の違いに注いでいます。

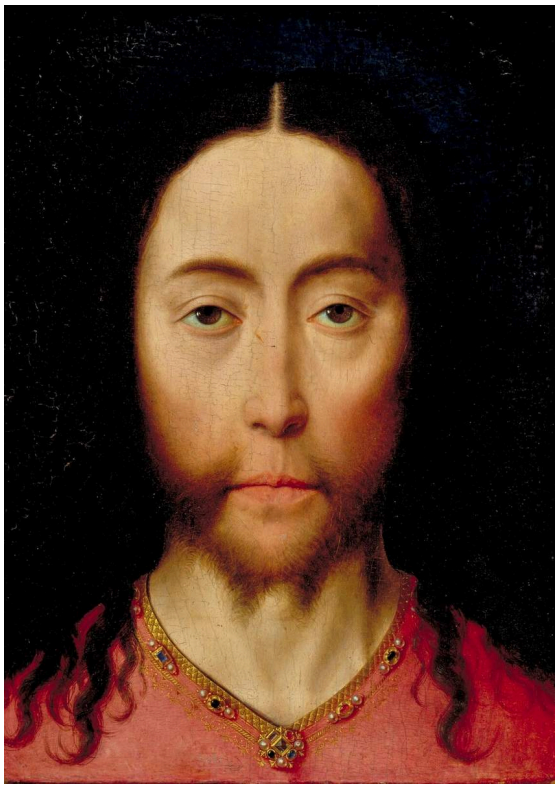
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: 3243 (OK)

17 / 20

Head of Christ

Dieric Bouts

1464年頃 · Museum Boijmans Van Beuningen



Dieric Bouts. Head of Christ. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/dirk-bouts/head-of-christ · Public domain (WikiArt source label)

この選集で最も古い作品には、目で追うべき群衆も出来事もありません。キリストの顔は正面からほぼ左右対称に示され、暗い背景の前で、黒い髪が淡い顔立ちを縁取っています。この祈りのための画像で、バウツは顔と注意を奪い合うようなものをほとんど描いていません。ほぼ同じ構図のホーフェルツの牛のすぐ後に見ると、この配置が厳粛さを取り戻すまでには、少し時間がかかるかもしれません。

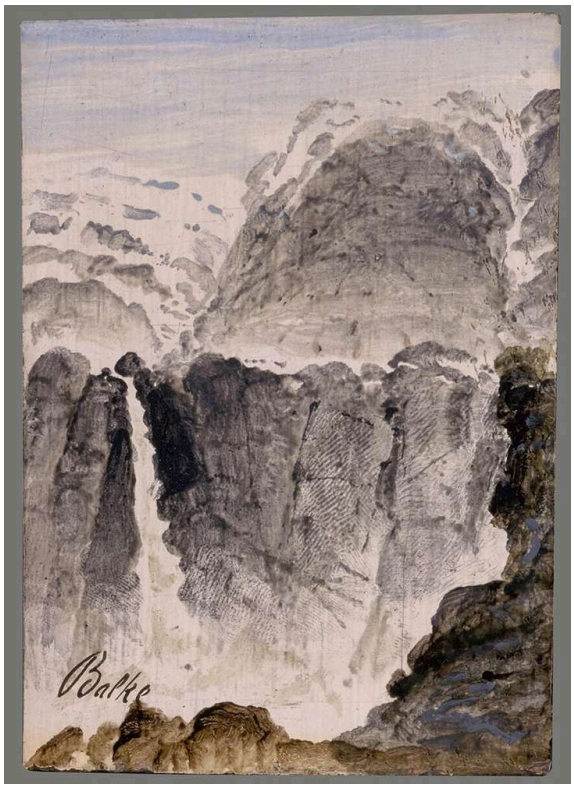
作品情報の出典 · 作品を開く

18 / 20

Rjukanfossen

Peder Balke

1860年頃 · Museum Boijmans Van Beuningen



Peder Balke. Rjukanfossen. Image credit: Peder Balke; Source credit: Museum Boijmans Van Beuningen. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

ここにある風景画の中で最も劇的な作品でありながら、バルケはごくわずかな手段でその劇的な効果を生み出しています。色調の幅を絞り、淡い落水や水しぶきを暗い岩に対置しています。その対比が、細部を積み重ねることなく、滝に力を与えています。それでも、固い岩、霧、水しぶきは、それぞれ明確に区別されています。

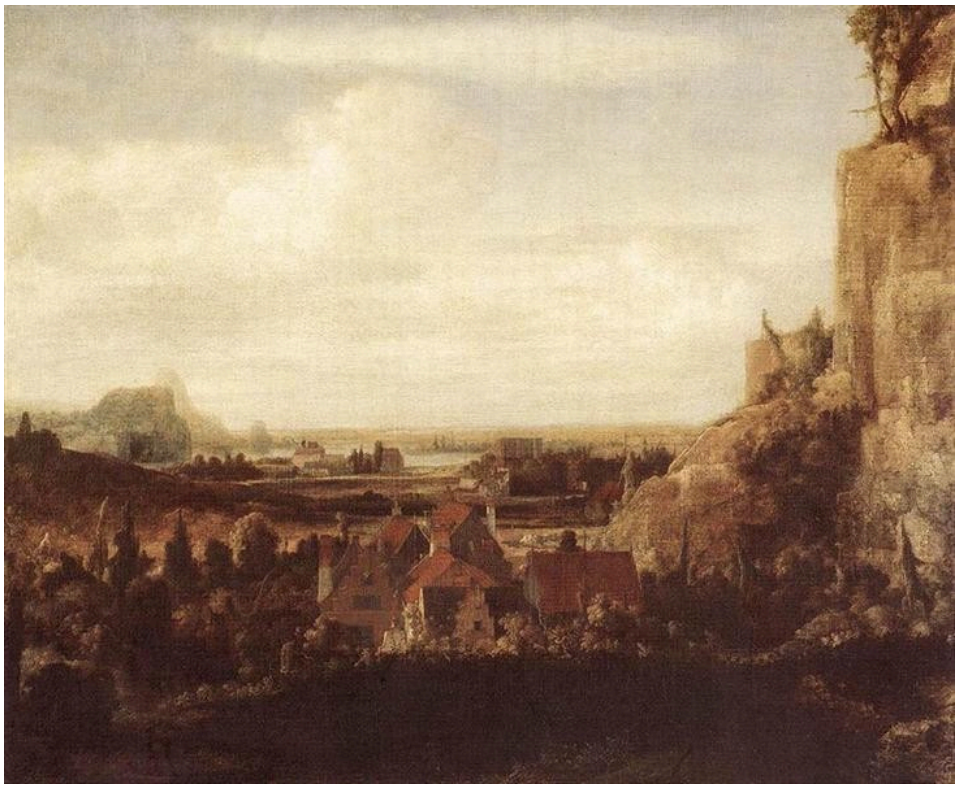
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: 3855 (OK)

19 / 20

A River Valley with a Group of Houses

Hercules Seghers

1625 · Museum Boijmans Van Beuningen



Hercules Seghers. A River Valley with a Group of Houses. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

岩山の下に家々が集まり、その向こうでは谷が淡い遠景へと続いています。家々は、この選集のほかの作品に登場する橋や荷車と同じ役割を果たします。それらがなければ距離や広さをつかみにくい地形に、尺度を与えているのです。ただし、奥行きそのものを生み出しているのは色調です。前景は暗く、遠景は薄く、その対比は、小さな集落のはるか先まで眺めを導くほど強いものです。

作品情報の出典 · 作品を開く

20 / 20

Judith with the Head of Holofernes

Gerrit Pietersz Sweelinck

1605 · Museum Boijmans Van Beuningen



Gerrit Pietersz Sweelink. Judith with the Head of Holofernes. Image credit: Gerrit Pietersz Sweelink. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

スウェーリンクが描くのは、殺害そのものではなく、その後です。二人の女性が、切り落とされたホロフェルネスの首を間にして姿を見せています。首は低い位置に持たれ、画面の上部は女性たちの顔と、目に見える年齢の違いに充てられています。どちらの顔も、一つの感情には収まりません。ユディトは明らかに勝ち誇っても、明らかに苦悩してもおらず、連れの女性の表情も同じように読み取りにくいものです。衣のひだと影が二人に注意を向けさせ、その間の首は、動かしがたい事実として残されています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: St 160

個々の作品を探す

コレクションに属しているからといって、その作品が展示されているとは限りません。美術館の所蔵品、デポでの展示、貸し出し中の作品は、すべてが一か所の常設展示にまとまっているわけではありません。見たい作品が現在どこにあるのか、それぞれ確認してください。

関連書籍

Dutch Paintings in The Metropolitan Museum of Art, Volumes I and II

Walter Liedtke · オンラインで読む、またはダウンロード · 英語

リートケによるメトロポリタン美術館のオランダ絵画カタログには、十七世紀の風景画、肖像画、風俗画について詳しい解説があり、特に、それぞれのジャンルが何を目指していたのかを知るのに役立ちます。解説の対象は同館の所蔵作品なので、ロッテルダムの作品を論じるものではなく、背景知識や比較の手がかりを与えてくれます。この選集では、十七世紀オランダの風景画や家庭の情景を描いた作品を理解するうえで、最も役立ちます。

博物館のウェブサイト · 公式コレクションガイド

情報源と訪問者情報は確認済みです。: 2026-10-12

AIの補助による翻訳

Artline · ボイマンス・ファン・ベーニンゲン美術館: 名作